

# ヴァイオリン 大関 万結

Mayu Ozeki, Violin

めぐろパーシモンホール  
未来 vol.29  
の音  
シリーズ

2020

1.11 土 14:30 開場 / 15:00 開演

めぐろパーシモンホール 小ホール

2017年 第86回 日本音楽コンクール第1位。  
さらに聴衆賞、全部門で最も印象的な演奏に贈られる増沢賞などを獲得し、圧倒的な存在感を示した大関万結。注目すべき若きヴァイオリニストの「現在」が一望できる必聴のプログラム。

## Program

モーツァルト |

ヴァイオリン・ソナタ 第21番 ホ短調 K.304  
W. A. Mozart | Violin sonata no.21 in E minor K.304

ブラームス |

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 Op.100  
J. Brahms | Violin sonata no.2 in A major Op.100

ショーソン | 詩曲

E. Chausson | Poème Op. 25

《ヴァイオリン独奏》

エルンスト | 「夏の名残のぼら」による変奏曲

《Violin Solo》

H. W. Ernst | Variations on The Last Rose of Summer

ラヴェル |

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 M.77  
M. Ravel | Violin sonata no.2 in G major M.77

ピアノ 入江 一雄

Kazuo Irie, Piano

全席指定 ¥2,500

めぐろパーシモンホールチケットセンター

電話・窓口 03-5701-2904 (10:00-19:00)

WEB <https://www.persimmon.or.jp> (24H)

イープラス <https://eplus.jp/>

7/13 (土) 10:00 発売

主催 | 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

東京都目黒区八雲 1-1-1 TEL. 03-5701-2913 東急東横線「都立大学駅」より徒歩7分

写真: ノザワヒロミチ (CAPSULEOFFICE)

 meguro  
persimmon hall

2017年、高校3年生在学時に日本音楽コンクールで第1位、さらに聴衆賞をはじめ全部門でもっとも印象的な演奏に贈られる増沢賞も受賞し、大きな話題を呼んだ大関万結。彼女が今回提示してくれたのは、モーツァルトからラヴェルまで、ヴァイオリン作品の変遷を辿るともいえるプログラム。このプログラムを通して聴くことで、ヴァイオリニスト・大関万結の「現在」を感じ取ることができるかもしれません。

ピアノの入江一雄は日本音楽コンクールで1位、聴衆賞などを獲得し、その後モスクワ音楽院で研鑽を積んだ精鋭。室内楽奏者として篤い信頼を寄せられる入江との共演で、若きヴァイオリニストは生き生きと個性を輝かせてくれることでしょう。

### Profile

## 大関万結 〈ヴァイオリン〉 Mayu Ozeki, Violin



©ノザフヒロミチ (CAPSULEOFFICE)

2000年横浜市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。

11年第65回全日本学生音楽コンクール小学生の部東京大会第2位。

13年第67回全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会第1位、併せて東儀賞・兎束賞受賞。14年横浜市教育委員会より表彰。

17年には第5回ヤツシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリン・コンクールにおいてファイナリストに選出され、ディプロマ賞を受賞。また第6回アンリ・マルト国際ヴァイオリン・コンクールにおいては新曲演奏を高く評価され、授賞式にて演奏を依頼される。さらに第86回日本音楽コンクール第1位、併せて岩谷賞（聴衆賞）、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に贈られる増沢賞を受賞。

18年東京都知事賞受賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。

これまでに、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、群馬交響楽団と共演。

桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業、桐朋学園大学ソリストディプロマコース2年に全額免除特待生として在籍。現在、篠崎史紀、岩崎裕子の各氏に師事。

## 入江一雄 〈ピアノ〉

### Kazuo Irie, Piano



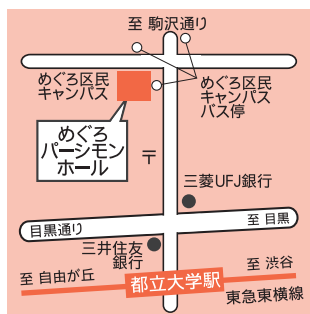
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学・同大学院を首席で卒業・修了。

2012年9月よりチャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院研究科に入学し、2016年夏に同課程を修了しディプロマ取得。留学中、公益財団法人ロームミュージックファンデーション（2012, 2013年度）、文化庁（2015年度）より助成を受ける。

第77回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、第1回CWPM（ポルトガル）第5位入賞他受賞多数。幅広いレパートリーの中でも特にプロコフィエフの作品演奏を自身のライフワークとし、ピアノ協奏曲第3番の熊本初演（2010年8月）やピアノソナタ全曲演奏会（全3回）を成功させた。近年ではN響コンサートマスター篠崎史紀氏から支持を受け、同氏リサイタルや室内楽公演で多くの共演機会を得る。これまで植田克己氏、エリソ・ヴィルサラゼ氏らに師事。2017年度より東京藝術大学非常勤講師。銀座王子ホールレジデンス「ステラ・トリオ」メンバー。あおによし音楽コンクール奈良審査員。

### Access

東京都目黒区八雲1-1-1  
東急東横線「都立大学駅」より徒歩7分  
東急バス「めぐる区民キャンパス」バス停すぐ



\*駐車場の台数が少ないため、公共交通機関をご利用ください。

未来の音シリーズ vol.30

佐藤晴真 〈チェロ〉

Haruma Sato, Cello

2020 3/14 〈土〉 15:00 開演



© FUKAYA\_Yoshinobu/auraY2



@meguropersimmonhall



@meguropersimmon



【ご注意】・未就学児の入場はご遠慮ください。  
・一度お求めいただいたチケットは公演中止の場合以外はキャンセルできません。  
・やむを得ぬ事情により出演者・内容等を変更する場合がありますので、ご了承ください。